

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語 科目：国語表現 単位数：3 単位
 対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組
 教科担当者：（A組：加藤 ）（B組：加藤 ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（「国語表現」大修館書店 ）
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。

科目 国語表現 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
A レッスン1 言葉と表記 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・表記の決まりを意識し、正しく書く。 ・漢字や慣用表現を正しく使う。	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解し、言葉や表記の大切さを理解している。〔(1)ア〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「表記クイズ」を解くことをとおして、正しい表記や語彙を豊かにすることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
B レッスン2 整った文を書く 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。	○	○	○	【知識・技能】 ・書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、伝えたいことを明確に伝えるために、係り受けや文末表現の統一に留意し、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・設問に取り組むことをとおして、係り受けを整えたり文末表現を統一したりする学習に積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
C レッスン3 相手に応じた言葉遣い 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。	○	○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。〔(1)イ〕 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「言葉の使い分けクイズ」をとおして、相手に応じて適切な言葉を使い分けることに積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
D レッスン4 わかりやすい文を書く 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、表現のしかたを工夫している。〔B(1)オ〕 ・「書くこと」において、自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・わかりやすい文を書くことに意欲をもち、積極的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
E レッスン5 発想を広げよう 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・発想を広げるための方法を理解する。 ・テーマをもとに発想を広げて小論文を書く。				【思考・判断・表現】 ・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組合せなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。〔B(1)ア〕 ・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠				

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文A

教科：国語 科目：現代文A 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 群
 教科担当者：（EK組）加藤
 使用教科書：（「現代文A」大修館書店）
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		読 書	読 書					
A 単元 「きつと叫びますよ」小川洋子「どんな人になりたかったか」大江健三郎 【知識及び技能】 文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
		○	○	○	○	○	8	
1 学期 定期考査					○	○		1
B 単元 「高瀬舟」（森鴎外） 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩、短歌、俳句の形式やリズムを味わおうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	8
		○	○	○	○	○	7	
定期考査					○	○		1
A 単元 「山月記」（中島敦） 【知識及び技能】 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	5
		○	○	○	○	○	8	
2 学期 定期考査					○	○		1

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語

科目 国語総合

教科：国語

科目：国語総合

単位数：3

単位

対象学年組：第3学年 I 群

教科担当者：（ AB組： 田崎

使用教科書：（ 「国語総合」（教育出版）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		読	書	読					
1 学 期	A 単元 「自由な主体になるために」 (西研) 【知識及び技能】 文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
			○	○		○	○	10	
1 学 期	B 単元 「仮想化する現実世界」 (高山博) 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩、短歌、俳句の形式やリズムを味わうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。【(1)ア】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	10
			○	○		○	○	9	
2 学 期	A 単元 「我のうへ」 (三好達治) 「サーカス」 (中原中也) 【知識及び技能】 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる 【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深めている。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	7
			○	○		○	○	8	

1 期	B 単元 「清兵衛と瓢箪」(志賀直哉) 【知識及び技能】 ・書簡体の表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人物関係や人物の境遇と心情をおさえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	10
			○	○	○	○	○	○	9
3 学 期	単元 「二十世紀の自画像」(加藤周一) 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「自由」という視点から日本の近代について考えを深めようとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	3
			○	○	○	○	○	○	
								合計	73

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典B

教科：国語 科目：古典B 単位数：3 単位
 対象学年組：第3学年 A組～ B組
 教科担当者：（A組：木村 （B組：木村） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）
 使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

科目 古典B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。	登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。	積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			経 典 書	文 法	読 書					
1 学 期	A 説話 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・『源氏物語』 ・説話について ・用言の復習	○	○		【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	12
	定期考査		○	○			○	○		1
	B 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・『枕草子』 ・助動詞について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	C 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・『近世俳諧』 ・和歌の解釈について ・修辭について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
定期考査			○	○			○	○		1
2 学 期	D 三国志の世界 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・『史記』 ・返り点について ・再読文字について ・使役形について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	E 随筆 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・『俊頼髓脳』 ・敬語について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○			○	○	

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典A

教科：国語 科目：古典A 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～ B組
 教科担当者：（A組：木村 （B組：木村 ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（ ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。	登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。	積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			経	書	読					
1 学 期	A 説話 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・古今著聞集「小式部内侍が大江山 の歌の事」 ・説話について ・用言の復習	○	○		【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		○	○		1
	B 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・伊勢物語「初冠」 ・歌物語について ・助動詞について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	C 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・伊勢物語「小野の雪」 ・和歌の解釈について ・修辭について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1
2 学 期	D 三国志の世界 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・十八史略「死諸葛走生仲達」 ・返り点について ・再読文字について ・使役形について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	E 随筆 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・枕草子「中納言参り給ひて」 ・敬語について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文B

教科：国語 科目：現代文B 単位数：2 単位
 対象学年組：第3学年 A組～B組
 教科担当者：（AB組：木村）
 使用教科書：（「新探究現代文B」（桐原書店））
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の

科目 現代文B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		読	書	読					
A 単元 読む 【知識及び技能】 文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・『詩人のふるさと』富岡多恵子 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
			○				○	○	○
1 定期考査						○	○		1
B 単元 読む 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩、短歌、俳句の形式やリズムを味わおうとしている。	・『こころ』夏目漱石 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	8
			○	○			○	○	○
定期考査						○	○		1
2 単元 読む 【知識及び技能】 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている	・『舞姫』森鴎外 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	5
			○	○			○	○	○
定期考査						○	○		1

C 単元 【知識及び技能】 ・書簡体の表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人物関係や人物の境遇と心情をおさえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	『舞姫』森鴎外 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	8				
									○	○	○	7
									○	○	○	1
定期考査												
3 学期 単元 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「自由」という視点から日本の近代について考えを深めようとしている。	『支配の役割』小坂井敬晶 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	6				
									○	○	○	5
									合計		71	

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～B組
 教科担当者：(AB組：加藤)
 使用教科書：(「文学国語」(大修館書店))
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		読	書	読					
A 単元 読む 【知識及び技能】 文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	○	○	○	5
				○			○	○	○
1 定期考査						○	○		1
B 単元 永訣の朝 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論文の表現や効果について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩、短歌、俳句の形式やリズムを味わうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。【(1)ア】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをおして、内容を解釈している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。【B(1)カ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	8
				○	○		○	○	○
1 定期考査						○	○		1
C 単元 山月記 【知識及び技能】 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる 【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【(1)ウ】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえたとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、作品の解釈を深めている。【B(1)オ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	5
				○	○		○	○	○
2 定期考査						○	○		1

C 単元 ころ 【知識及び技能】 ・書簡体の表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人物関係や人物の境遇と心情をおさえる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	8
		○	○	○	○	7		
定期考査					○	○	1	
3 学 期 単元 「である」ことと「する」こと 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「自由」という視点から日本の近代について考えを深めようとしている。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。〔B(1)キ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	6
		○	○	○	○	5		
合計								
71								

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語

科目 国語探究

教科: 国語 科目: 国語探究

単位数: 2

単位

対象学年組: 第 2 学年 IV 群

教科担当者: (AB組: 加藤

使用教科書: (「表現ワークブック」 (明治書院))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		読	書	読					
1 学 期	A 単元 「書いて伝える【準備編】」 【知識及び技能】 文章の基本的なルールを覚え、実際に執筆する際に活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・単元で覚えたことを活用して文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・必要事項について、相手の立場に立って考えることができるか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	5
			○	○	○	○	○	8	
			○	○	○	○	1		
定期 考 査	B 単元 「書いて伝える【執筆編】」 【知識及び技能】 ・テーマを考え、問を立てることから、文章を完成させるところまでを作ることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の想定した内容で書くことができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・テーマは自分の興味関心に合ったものを選ぶことが出来たか。また、社会に有用なテーマになっているか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	8	
			○	○	○	○	7		
			○	○	○	1			
2 学 期	C 単元 「書いて伝える【活動編】」 【知識及び技能】 ・テーマ型や文章題型など、小論文の形式について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・それぞれの形にあった文章を考えることが出来たか。 【学びに向かう力、人間性等】 問題の特徴を理解し、相手が求める技能を把握することが出来たか。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	5	
			○	○	○	○	8		
			○	○	○	1			

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 群
 教科担当者：(EK組) 加藤
 使用教科書：(「言語文化」(大修館書店))
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代以降の様々な文章を的確に理解する	適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		語 文	読 書	話 話					
A 説話 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調べようとする。	・松尾芭蕉「奥の細道」 ・説話について ・用言の復習	○	○		【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読み、わからないことを意欲的に調べようとしている。	○	○	○	12
1 定期考査						○	○		1
B 物語(一) 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調べようとする。	・伊勢物語「初冠」 ・歌物語について ・助動詞について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読み、わからないことを意欲的に調べようとしている。	○	○	○	7
1 定期考査						○	○		1
A 単元「菟のうへ」(三好達治) 「サーカス」(中原中也) 【知識及び技能】 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文体の特徴や語りの構造をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】 ・文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。[(1)ウ] ・文学的文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。[(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。[B(1)ア] ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。[B(1)オ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	5
			○	○		○	○	○	8
2 定期考査						○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典基礎

教科：国語 科目：古典基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 A組～ B組
 教科担当者：（A組：木村 （B組：木村 ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）
 使用教科書：（ 基本の古典 ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。
 【思考力、判断力、表現力等】登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

科目 古典基礎 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	古文の意味内容を改めて考え、単語・文法を的確に理解している。	登場人物の行動や心情について深く考え、自分の考えを表現することができる。	積極的に古文を読み、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 説話 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・古今著聞集「小式部内侍が大江山 の歌の事」 ・説話について ・用言の復習	○	○		【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		○	○		1
	B 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・伊勢物語「初冠」 ・歌物語について ・助動詞について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	C 物語（一） 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・伊勢物語「小野の雪」 ・和歌の解釈について ・修辞について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
定期考査				○	○		○	○		1
2 学 期	D 三国志の世界 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・十八史略「死諸葛走生仲達」 ・返り点について ・再読文字について ・使役形について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	7
	E 随筆 【知識及び技能】 用言を復習し、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文に即して、登場人物の関係を考 える。 【学びに向かう力、人間性等】 わからないことについて意欲的に調 べようとする。	・枕草子「中納言参り給ひて」 ・敬語について	○	○	○	【知識及び技能】用言の活用を理解している。 【思考力、判断力、表現力】本文に即して登場 人物の関係を考えている。 【学びに向かう力、人間性】積極的に古文を読 み、わからないことを意欲的に調べようとして いる。	○	○	○	8
	定期考査				○	○		○	○	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数： 単位
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組
 教科担当者：（A組：木村 （B組：木村 （組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（大修館書店 言語文化 ）
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		語 文	書 読	読					
A 言語文化への視点 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。	○	○	○	”【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	5
		B 言語文化への視点 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・読書についての筆者の考えを読み取る。	○		○	○	”【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	
定期考査						○	○		
C 2 言葉の紡ぐ世界 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・羅生門 ・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。	○	○	○	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔(1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	8
		D 2 言葉の紡ぐ世界 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・ゼイナブの指 ・場面の展開に沿って、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・作品の構成や語り手に注目する。	○		○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。〔(1)エ〕 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	
定期考査			○	○		○	○		
E 3 伝統と発展	・実態の美と状況の美				【知識・技能】				

	<p>【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>・美についての筆者の考えを読み取る</p>	○	○	○	<p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うこととおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕</p> <p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。〔B(1)ア〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査		○	○			○	○		1
2 学 期	<p>F 1 古文に親しむ</p> <p>【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>・古文の文体や仮名遣いに慣れる。</p> <p>・作者の伝えたいことをとらえる。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。〔(2)イ〕</p> <p>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕</p> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。〔B(2)イ〕</p> <p>・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動。〔B(2)ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。・古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査		○	○			○	○		1
3 学 期	<p>G 1 漢文に親しむ</p> <p>【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</p>	<p>・漢文の文体や構造に慣れる。</p> <p>・作者の伝えたいことをとらえる。</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕</p> <p>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。〔(2)イ〕</p>	○	○	○	16
	定期考査		○	○			○	○		
										合計
										72

